

審査の結果の要旨

論文提出者氏名

梅津 章子

本研究は、アメリカの民間非営利団体であるナショナル・トラストによる歴史的環境保全による地方中心市街地の活性化事業であるメインストリート・プログラムに関して、その運営主体別のプログラムについてそれぞれ実態調査を実施し、その仕組みと成果、特色等を詳細に明らかにすることを目的としている。

論文は序章の他に計9章から成っている。

第1章は、全体の導入部としてアメリカにおける地方都市の現状と小規模事業促進政策の概要を明らかにしている。地方都市の中心市街地の再生にあたっては、ダウントウン全体の小規模事業を総合的に計画し、かつ地域固有の特色を強化することによって郊外型商業施設に対する競争力を保持することが重要であるという認識に至る過程を概説し、メインストリート・プログラムの確立の背景を明らかにしている。

第1章が商業政策としてのダウントウン施策を述べているのに対して、第2章では、都市施策から見た歴史的環境保全施策の一環としてのメインストリート・プログラムの位置づけを行っている。このなかで、地域社会にとって重要な地区固有の遺産を公共財として地域経済に寄与するものとして積極的に活用するに至る今日の歴史的環境保全の状況が明らかにされている。

第3章においては、メインストリート・プログラムの概要が明らかにされる。そのなかで、デザイン・組織作り・プロモーション・経済再活性化の4点に力点を置く、プログラム特有のアプローチの考え方を詳述している。また、メインストリート・プログラムの史の変遷を試験的事業期・各州実地事業期・大都市圏実験的事業期・地方及び小都市期・市プログラム期の相互に重なり合う5つのフェーズに分類することによって構造的理解が容易になることを明らかにしている。

続く第4章では、メインストリート・プログラムの管轄主体別に、州プログラムと市プログラムに分け、経済活性化関連部局が中心となる場合とコミュニティ開発関連部局が中心となる場合とに関して、プログラムの目的や手法の異同を詳述している。

第3、4章の概説を受けて、第5章から第8章にかけて、積極的に地方の小都市においてメインストリート・プログラムを展開する典型的な州プログラムとしてアイオワ州（第5章）、州副知事直轄のダウントウン再生事業として実施しているイリノイ州（第6章）、歴史的環境保全局が管轄している州の典型例としてテキサス・フロリダ両州（第7章）、

市プログラムの先駆的事例としてボストン市（第8章）の事例を実態調査をもとに詳細に紹介している。

最後に第9章において、総括をおこない、メインストリート・プログラムの特色として、固有の支援プログラムを確立していくなかで、歴史的環境の経済的価値や社会的価値、さらには美的価値の再認識に大きく寄与していることが示されている。

メインストリート・プログラムは管轄主体の違いによって地域へのアプローチの仕方が多様であり、これまで総合的な理解が困難であるという状況が続いていたが、本研究によって、その全体像があきらかになり、いくつかに分類することによって明快な理解が可能であることが示された。また、そのアプローチがこれまで多くの実績を積んでいることを実証的に明らかにし、中心市街地再生のためのひとつの有力な手法を提起するにいたっている。

本研究はアメリカを対象として限定したものではあるが、その示唆するところはわが国において現在緊急の課題として各地で取り組まれている中心市街地活性化の諸事業についてもおおいに有益であるといえる。

以上の点において本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。